



早いもので、今年も後1ヵ月となりました。秋ごろから寒くなり、咳や鼻水などの風邪の子どもが増えています。園では、引き続きこまめな手洗い・消毒などに注意をし、かぜ予防をしていきます。ご家庭でもお子さまの体調管理に十分な配慮をお願いします。

### 感染性胃腸炎に注意しましょう。

ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合があります。  
下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないよう、こまめな水分補給を心がけましょう。また、吐物や便にはウイルスが含まれているので適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいをしましょう。  
園で嘔吐があった際は、再感染防止のため、汚れた衣服は園で消毒せず、持ち帰りをお願いしています。その際は、玄関前BOX内に衣類を入れてありますので忘れずお持ち帰りください。



#### 汚れた衣服は…

85℃の熱湯に1分以上浸けるか、塩素系漂白剤を薄めた物で消毒します。

消毒ができれば洗濯機に入れて大丈夫です。

汚れた場所もしっかりと消毒を行いましょう。

#### 年末年始の急病は？

年末年始はほとんどの病院が休診となります。お子さまの急な発熱やけがに備えて、事前にかかりつけの病院の他、近くの救急病院の診療時間と休診日は確認しておきましょう。また、帰省先の救急病院の情報も把握しておくことが大切です。

#### お正月料理は窒息に気を付けて！

年末年始は帰省や大掃除、おせち料理にお参り…とあわただしいもの。健康に気をつけて、元気に新年を迎えましょう。

#### もちや豆類による窒息

お正月の定番のお雑煮(もち)や黒豆(豆類)は窒息の危険が高い食べ物。もちは小さく切って1つずつ、汁物といっしょに食べさせます。豆類は刻むか、子どもには控えましょう。



#### 冬のスキンケア

乾燥しやすい冬は、皮膚もカサカサになりトラブルが起きがちです。優しく石鹸で洗った後はしっかりタオルでふき取り、お風呂上りに保湿剤を塗り、水分の蒸発を防ぎましょう。ローションタイプより軟膏(ワセリン)やクリームなど油分の高いものの方が保湿効果は高いです。肌の状態に合わせて、最適なものを選びましょう。  
化学繊維のパジャマは乾きやすいですが、その分、水分を保つ働きが弱いので、皮膚が乾燥しやすいです。綿の素材の方が吸湿性が高く、肌荒れを起こしにくいです。



#### 11月の感染症

突発性発疹 2名

#### 12月の予定

- 12/1~8 全園児 身体測定
- 12/7(火) 13:45~ 園医健康診断

対象:2歳児・5歳児

